

令和5年度 自己評価公表シート

認定こども園龍谷きくし保育園

1.本園の保育目標

認定こども園龍谷きくし保育園の保育目標は、「出逢い ふれあい 育ちあい 共に育む生きる力」です。様々なことに出逢える尊い経験は、子ども達の世界を大きく広げ、子どもたちの創造力を伸ばし、子ども自身の力で自らを発達させていくことでしょう。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

令和5年度認定こども園龍谷きくし保育園、教育・保育課程における、教育・保育目標に基づいて自己評価・考察を実施することによって、各々の課題を向上できる職場環境をつくり教育・保育内容の改善に取り組んでいくことを重点項目とする。

3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育・教育課程の編成・実施に関して職員間で共通理解を図る。	保育内容に関する全体的な計画を職員間で見直し、保育内容を整理・編成を行い、職員間で共通理解を図るよう努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手だてを講じる。	毎朝の職員伝達や打合せ、職員会議でのクラス報告等を細目に行い、記録し、職員全体で共有し、子どもたちの実態の把握に努めている。
教育・保育の質の向上のために、職員会議・園内研修を充実させる。	職員会議での内容は必ず職員間で回覧し、定期的に、園内研修を行い、保育を見直す等、教育・保育の質の向上に努めている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情などに適切な対応を行う	保護者からの意見を真摯に受け止め、要望に対しては謙虚に受け止め記録を行い、保護者対応を丁寧に行っている。
各研修会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会に参加し、研修報告として資料にまとめ、職員回覧を行うなど、研修内容を職員全体で把握するようにし、保育士の質の向上に努めている。
発達過程や状況を踏まえ「指導計画」を作成し、計画・実践・省察・評価・改善のサイクルを確立する	発達過程や状況を踏まえ、年間を通して継続的な指導計画となるよう、年度末には反省を行い、自己評価を行い、きめ細やかな保育となるよう各自努力を怠らない。
園の財務状況を積極的に公開する	公認会計士により適正に処理されていると認められている。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	全体的は計画を基に、各年齢別の指導計画をたて、保育内容を充実させるため努力しているが、職員がシフト制で保育しているので、上手く全体で連携することが出来ないこともあった。今年度の反省を踏まえ、全体の協働意識を高め、課題を向上できるよう、保育環境の改善や教育・保育内容の改善に取り組む。

5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
研修について	各職員のキャリアパス研修計画を始め、職員が積極的に研修に参加できる環境を整える。
記録書類の作成	保育や常務上書類は、速やかに記録作成に努め、全職員で共通理解が持てるよう常に記録の回覧を怠らない。
保育計画について	教育・保育課程に基づいた保育計画の内容充実を目標に、先を見据えた教育・保育の継続を図る。

6.施設関係者評価

保育や業務に対しての自己評価をしっかりと行い、保育の充実にも努力しています。また、保護者支援に対しても丁寧に向き合い、様々な家庭のニーズにあった保育に努めていると感じます。保育者の日々の保育に対する真摯な姿勢が伺えます。
